



Quarterly  
[出羽庄内国際交流  
財団会報]  
季刊誌

出羽庄内国際村日曜日本語教室の皆さんの  
鶴岡公園でのお花見会

Vol.20

# 出羽庄内国際村

「 DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM 」

- 特集「平成11年度財団事業のあらまし」 ②～③
- アマゾン民族館紹介ほか ④
- ハロー出羽庄内・ワールドクッキング ⑤
- レポート出羽庄内国際村 ⑥～⑦
- トピックスほか ⑧

づくりの推進等を柱に、地域の国際交流団体、ボランティアをはじめ、多くの方々との連携と協調を深めながら、次に掲げる事業を実施してまいります。

# かれ、 ざした めざして

## 財団 平成11年度の動き

### (2) 在住外国人等生活支援事業

鶴岡市在住の私費留学生を対象に奨学金を交付するほか、地域の外国人の各種相談について対応を図ります。  
●奨学金の交付 ●相談ボランティア講習会の開催支援等

### (3) 情報収集提供事業

海外の新聞・雑誌、専門書籍、ビデオ等の整備拡充、財団会報の発行などにより国際交流活動関係情報の収集・提供を行います。  
●財団季刊誌の発行(年4回)  
●英語版情報提供誌の発行(年4回)  
●インターネットホームページでの情報提供(季刊誌等含む)  
●各種図書などの整備及び閲覧提供等

## 4. 民族文化学習研究事業

### (1) 国際民族資料研究事業

アマゾン民族館収蔵の国際民族資料の整理・研究を行い、企画展示等を通じて、その研究成果を地域に還元します。  
●企画展示の実施

### (2) 国際民族学講座

地域の文化と世界の文化の対比学習を行い、国際感覚を備えた人材の育成を図ります。  
●マヤ文明講演会の実施等

### (3) アマゾン子供フェスティバル

楽しみながらアマゾンをはじめとする世界の文化、自然などを学習する機会を提供し、児童・生徒の国際理解の向上とアマゾン民族館の利用拡大を図ります。  
●アマゾン子供フェスティバル等



出羽庄内国際音楽祭

国際交流員の小学校訪問



## 今年度は、こんな事業を計画しています

- |  |   |
|--|---|
| <p>4月<br/>28日(水) 国際交流関係団体連絡協議会</p> <p>5月<br/>24日(月) 平成11年度第1回財団理事会評議員会</p> <p>6月<br/>4日(金) フレンドシップサロン「テーマ国/ロシア」<br/>13日(日) 第5回出羽庄内国際村ワールドバザール<br/>15日(火) ワールドクッキング「フィリピン編」</p> <p>7月<br/>2日(金) フレンドシップサロン「テーマ国/中国」<br/>20日(火) ワールドクッキング「Bangladesh編」<br/>25日(日) 第15回庄内国際青年祭(～8/1)</p> <p>8月<br/>4日(水) ハローワールド「桑山紀彦・ドクトルKの地球のステージパート」<br/>6日(金) 出羽庄内国際村国際音楽祭<br/>14日(土) 夏休みアマゾン子供フェスティバル<br/>17日(火) ワールドクッキング「夏休み編・みんなで中国料理」</p> <p>9月<br/>3日(金) フレンドシップサロン「アメリカ」<br/>21日(火) ワールドクッキング「ガーナ編」</p> <p>10月<br/>1日(金) フレンドシップサロン<br/>2日(土) マヤ文明講演会<br/>13日(水) ハローワールド「スライドトーク・岡崎利男の地球の風景」</p> | <p>19日(火) ワールドクッキング「スリランカ編」<br/>23日(土) 出羽庄内国際村祭「ハロウィン」</p> <p>11月<br/>5日(金) フレンドシップサロン<br/>16日(火) ワールドクッキング「韓国編」</p> <p>12月<br/>3日(金) フレンドシップサロン<br/>4日(土) クリスマス/サンタさんとの撮影会・映画会<br/>4日(土) クリスマス/チャリティダンスパーティ<br/>18日(土) クリスマス/ワールドファミリークリスマス<br/>29日(水) 年末年始休館(～1/3)</p> <p>1月<br/>7日(金) フレンドシップサロン<br/>9日(日) 出羽庄内国際村祭「日本のお正月」</p> <p>2月<br/>4日(金) フレンドシップサロン<br/>6日(日) 出羽庄内国際村祭「中国のお正月」<br/>15日(火) ワールドクッキング「リクエスト編」</p> <p>3月<br/>3日(金) フレンドシップサロン<br/>21日(火) ワールドクッキング「リクエスト編」</p> |
|--|---|

後援等事業 詳しくは、出羽庄内国際村まで。



庄内における国際交流の拠点施設「出羽庄内国際村」の開設から6年目を迎え、国際交流活動は着実な広がりを見せています。

国際村を拠点に事業を展開している本財団では、国際交流の推進、国際理解を深める学習機会の提供、国際化に対応した地域

# 世界に関 地域にね 国際村を

## (財)出羽庄内国際交流

### 1. 草の根の国際交流推進事業

#### (1) 草の根の国際交流推進事業

第5回庄内国際青年祭はじめ各種国際交流団体等が実施する国際交流・国際化推進事業等を支援します。

#### (2) 姉妹都市交流支援事業

鶴岡市と友好関係にあるアメリカ・ニューブランズウィック市、ニューカレドニア・ラフォア市等の資料の展示や情報交換等の支援を通じて、住民相互の一層の交流の推進を図ります。

#### (3) 国際交流関係団体ネットワーク事業

財団と地域の各国際交流団体の連携及び団体間の連携を活発化し、庄内地域における国際交流活動のネットワーク化を推進します。●国際交流団体連絡協議会の開催●ワールドバザールの開催等。

#### (4) 国際交流ボランティア活性化事業

ホームステイ、通訳・翻訳をはじめとする各種ボランティアの養成・組織化を図り、各種国際交流事業への主体的な参加を呼びかけます。●各種事業へのボランティア参加勧奨●各種講習会の開催等。

#### (5) 出羽庄内国際村祭事業

国際交流を身近かに体験してもらうため、世界各国の文化、芸能、料理等を紹介する事業を継続的に開催します。●ハロウィン●感謝祭●クリスマス●各国のお正月行事等。

### 2. 国際理解学習推進事業

#### (1) 外国語専門講座

多様な語学学習の機会を提供し、地域住民の国際社会への対応能力の向上を図ります。●英語、中国語、ロシア語、フランス語、ドイツ語等の語学講座の開設等。

#### (2) 日本語及び日本文化学習事業

在住の外国人の方へ日本語及び日本文化の学習機会を提供し、地域での生活力の養成、仲間づくりの支援などを行います。●日本語講座の開設●茶道●書道教室の開催

#### (3) 国際理解講座

在住の外国人の方などを講師に、異文化理解を深める講座を開催します。●ハローワールド●ワールドクッキング●国際村交流会等

### 3. 国際化対応基盤整備事業

#### (1) 国際音楽祭、セミナー等開催事業

地域の国際化等に関するセミナーや音楽祭等を開催し、地域に根ざした国際交流及び異文化理解の推進を図ります。●出羽庄内国際音楽祭の開催等



ワールドクッキング

外交クラブin庄内





# アマゾン民族館

## ワンポイントレクチャー(2)



ベイジューをつくる女性

ペリキートが紹介するワンポイントレクチャーは今回で2回目。前回の「インディオの住まい」に引き続き、「インディオの食生活」をお届けします。

インディオ達の主食マンジョーカ芋(トウダイグサ科の多年性作物)はデンプンに富んでいますが、青酸性の毒を含んでいるので毒抜きをしてから食用にします。作り方 2、3日水に浸したマンジョーカの皮を剥き、おろし板でおろします。チピチと呼ばれる伸縮性のある筒籠に詰め、伸び縮みさせながら脱水と毒抜きを同時に行います。

脱水したものを土鍋で、せんべい状に焼き上げベイジューというパンにするが、煎ってフアリーニャ・デ・マンジョーカといわれる粉末状のデンプンを作り、これらを食します。



脱したものを土鍋で、せんべい状に焼き上げベイジューというパンにするが、煎ってフアリーニャ・デ・マンジョーカといわれる粉末状のデンプンを作り、これらを食します。

ところで、残った青酸を含んだ毒液は、ツクピイという調味料に加工し、肉や魚、小エビなどの味付けに使います。残さず活用するところがインディオのすごいところですね。



ナマズ的一种スルピン(1m50cm)

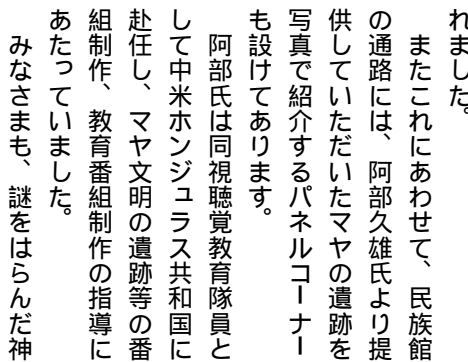
インディオ達にとって、魚は貴重なタンパク源です。主にナマズやピラニアを食べますが、ピラルクーという体長4m、体重250kgもある巨大魚を捕まえることもあります。山口館長お薦めのナマズ調理法は、ナマズを輪切りにし、ライムを搾っておいてから焼くというもので、さっぱりしてとても美味しいものです。丸焼きにしたナマズが民族館内に剥製として展示してあり、槍の穴や焼け焦げた痕などがついていますが、そこがまたインディオの食生活を連想するのに、いい味を出しています。皆様、是非ご覧下さい。

などが紹介され、山口館長と、青年海外協力隊考古学隊員とし



企画展ではマヤの土器や土偶、石器、そして色あざやかな織物

またこれにあわせて、民族館の通路には、阿部久雄氏より提供していただいたマヤの遺跡を写真で紹介するパネルコーナーも設けてあります。



阿部氏は同視聴覚教育隊員として中米ホンジュラス共和国に赴任し、マヤ文明の遺跡等の番組制作、教育番組制作の指導にあたっていました。

「神秘のマヤ文明展」が、三月十三日に開幕しました。この日はオープニングイベントとして、マヤ文化協会会員で山形県産業技術短期大学校庄内校教育主幹の前田直明氏や、青年海外協力隊員としてマヤの遺跡について調査にあたり、この企画展でもご協力いただいた阿部久雄、由美子ご夫妻らを迎えて、テープカットが行われました。

マヤ文明の遺跡の発掘調査、修復作業などにあたっていた阿

### マヤ文明展 オープニング行事開催

庄内在住の外国人の方々を紹介します

# ハロー出羽庄内

今回の『ハロー出羽庄内』は、三川町にいらしているモアシル・ペレイラ・ジュニアさんにインタビューしました。ペレイラさんはブラジルから1998年8月、国際交流推進事業の一貫として派遣されたSEA（スポーツ国際交流員）のサッカー指導員として三川町にいらっしやいました。



こんにちは。ブラジルのノバリマ市からサ

ッカーの指導員として三川町に來ましたモアシルです。ブラジルにいた時は『クルゼイロ・スポーツクラブ』チームのサッカーコーチをしていました。クルゼイロには、年令別の少年チームや二十歳以上のプロチームの他にアマチュアの女子のチームも三チームあります。ブラジルの子供はほとんど全員といっていいほどみんながサッカーをします。日本の子供はバスケットボールや水泳など、やること

が沢山ありますね。

プロのサッカーコーチになるため、私は大学に進みました。プロのコーチになるためには『ブラジルサッカーコーチ協会』公認の免許が必要で、その免許を取るためには専門の大学を卒業するか十年間プロのサッカー選手として活動していなければなりません。

日本の印象は大変きれいで何事も秩序だっているということ。日本はとにかく安全です。子供の様子も両国では全然違います。日本では両親は沢山のお金を子供に与えますが、あまり目をかけていないようです。子供は玩具が欲しいだけではありません。親に注目されたいのです。日本の子供の生活は簡単です。やらなければいけないことが全て決まっているからです。ブラジルでは金銭的に裕福でないかわりに遊ぶ時間が沢山あります。自分で遊びを考えなければなりません。でも両国の幸せさを単純に比べることはできません。社会の状況があまりにも違

いすぎるからです。ブラジルには単に「貧しい」を通り越して悲惨なほど貧困の子供が沢山います。日本人には言葉だけでは理解するのが難しいでしょう。学校の様子も違います。ブラジルの学校は半日で、先生と生徒の関係は友達の様です。日本の学校では私は生徒になれません。日本の親も先生ももっと子供に対して目をかけるべきだと思います。

日本のプロのサッカーチームは高い契約金で有名な監督を海外からよんでいます。でも優秀な監督であるというのは大切ですが監督は日本人から選ぶべきだと思います。チームを強くしたいという気持ちは外国人より強いはず。三川町にきて一年目は私にとって本当に大変でした。文化も習慣も食物も違うし、交通も不便です。でも今は三川町が大変好きになりました。私の担当をしてくれる役場の人は今では心の通じる一番の友人になっています。

私の夢は、日本のプロのサッカーチームでコーチをすることです。今は三川が好きなので本当は離れたくないのですが、夢をかなえるためには離れなければならないかもしれませぬ。

## 食を通して世界を知ろう

# ワールドクッキング

## 好評開催中

毎回ご好評いただいております「ワールドクッキング」。今年度第1回目の5月には、「ブラジル編」を、6月には「フィリピン編」で、参加者の皆様楽しんでいただきました。ここでちょっとご紹介。

ブラジル編は、豆と豚肉を煮込んだものをご飯にかけていただく『フェイジョン・シンプリエ』。また、講師の佐藤さんオリジナルの『おからコロッケ』や、鳥のひき肉を使ったブラジル風コロッケの『コシーニャ』も大好評でした。

フィリピン編では、「日本の味に似てる」との意見もあり、にんにくタップリの豚の角煮『アドーボ』、鳥肉のささみをゆでた煮汁と牛乳でパスタをゆで

講師 ブラジル編  
アバレシーダトシヨサトウさん



講師 フィリピン編  
大滝プリシラさん



る『ソーパス』など、個性豊か。そこで、フィリピン編から、えびのスープ『シニガン』のレシピを紹介させていただきます。もちろん材料は身近で手に入るものばかりですよ。

### シニガン

- 材 料  
えび・ほうれん草・トマト・大根・レモン・しょうが  
作り方  
1. トマト、大根、玉ねぎ、しょうがをスライスする。  
2. 1を鍋に入れ、塩を加えてゆでる。  
3. 大根が柔らかくなったらえびを入れる。  
4. 3にレモン汁を加える。  
5. 4にほうれん草を入れ、ひと煮立ちしたら火を止めてできあがり。

ワールドクッキングは、食べ物を通して、異文化に触れていただける絶好のチャンス！料理のレパトリーも増えてウキウキです。皆様の御参加、お待ちしております。



# レポート

## 出羽庄内国際村

1999.1  
～  
1999.5

### 恒例

### 出羽庄内国際村祭

地域在住の外国人の方々との交流を通して異文化を体験し、国際理解を深めることを目的に十月から開催している出羽庄内国際村祭。

一月、二月も大勢の皆さんの参加をいただき楽しく開催されました。

### 日本のお正月

一月のテーマは「日本のお正月」、今年はホールを会場に十日に開催されました。



オープニングは毎年恒例の羽黒太鼓天宿会の小学生による太鼓演奏。続いて、昨年好評の湯田川神楽保存会の皆さんによる神楽舞とひよっこ踊り。ダイナミックに動き回る獅子とユーモラスなひよっここの動きに会場は拍手喝采。

その後は、三十キロのもち米でのお餅つき。参加した留学生からはきねの重さに驚きながら餅つきを体験し、つきたての餅をみんなで味わいました。

会食後は、琴と尺八による演奏会、茶道や生け花、書道などの日本文化体験、かるたや羽根

つき、こま回しなどの懐かしいお正月遊びなどが行われ、まさに日本文化紹介の一日。

参加した外国人の皆さんはもとより、地域の子供たちにとっても楽しい一日となったようです。お手伝いいただいた大勢のボランティアの皆さん、ありがとうございました。

### 中国のお正月

今年の二月十六日は旧暦のお正月、中国では、大々的にお祝いするとか。そこで二月の国際村祭は「中国のお正月」。

今年も、旧正月すくあとの二十日に餃子づくり教室、二十一日に映画の上映会等が行われました。

毎年大人気の餃子づくり教室ですが、今回は山形大学農学部に留学している三名の方に講師になっていただきました。

黒龍江省出身の楊さんはキャベツと肉の餃子を、同じく劉さんは海鮮餃子を、吉林省出身の樊さんは海鮮餃子を紹介してくれました。参加者は三班に分かれ、皮や具の作り方など「本場・本物の味」を熱心に学んでいました。

その後、出来たて、ゆでたての餃子で会食。三種類の餃子を食べ比べたり、中国の旧正月の

過ごし方を聴いたり楽しい一時となりました。



翌日の「中国のお正月」では昨年好評だった中国旧正月のテレビ番組のビデオを放映。歌あり、踊りありの「中国版紅白歌合戦」に、日本人はめずらしげに、在住の中国の皆さんはなつかしげに、かつ真剣にテレビ画面に見入っていました。

午後には、中国のお正月では初の中国映画上映会が行われました。上映された映画は、現在の北京を舞台に繰り広げられる警官の日常を描いた「スケッチ・オブ・ペキン」。また、ホール前では中国将棋なども紹介され、参加者は楽しく中国を体験しました。

なお、来年の旧正月は二月四日。来年も在住の中国人の皆さんらにご協力いただきながら、楽しい行事をと考えています。

### イードル・フィットル 国際村で開催

約一ヶ月の間、日の出から日没まで飲食を断つイスラムの「ラマダン」。そのラマダン明けをお祝いする会「イードル・フィットル」(断食明けの祭典)が一月十九日に国際村ホールで行われました。



これは山形大学農学部の留学生を中心に庄内在住のイスラム文化圏の皆さんが、日頃お世話になっている地域の皆さんを招待し、会食しながら文化を知ってもらおうと開いたものです。

この日は招待者を含め約百四十名が参加、会場にはそれぞれが持ち寄ったトルコ、インドネシア、スリランカ、バングラデシュ、マレーシアの五ヶ国の手づくり料理が並べられ、参加者

は説明を受けながら各国の料理を食べ比べたり、料理の国当てクイズや子供たちによる歌の披露などを楽しみ、異文化体験の貴重な一日となりました。

### 参加してみませんか フレンドシップサロン

気軽に外国人の方との交流を図ろうと毎月第一金曜日の夜に国際村の喫茶店で開催している国際村交流会・フレンドシップサロン。二月、三月も多彩なゲストをお迎えし、にぎやかに開催されました。

二月五日のテーマは「モンゴル」。この日は羽黒高校に留学しているトルガさん、ビルグンさん、ボロルさん、ジアワアさんを迎え、開催されました。四人は各々の出身地、遊牧民の住む円筒形の天幕「ゲル」、毎年七月に開催される国あげの祭典「ナーダム」、羊肉をはじめとする食文化などについて話してくれました。参加者からは、数々いろんな質問もたされ、モンゴルへの理解を深める一夜となりました。

三月五日は「インドネシア」をテーマに、バリ島出身のグステイーさんとセレブ島出身のサイディマンさんのお二人の山形大学農学部留学生の方を迎え



開催しました。

まずは、出身地の話、鶴岡での生活に始まり、一言にインドネシアといってもジャワ島やバリ島はじめ多くの島々からなり、三百以上の部族が三百以上の言語を使い生活し一つの国を形成していること（但し、公用語はインドネシア語）や産業、人々の暮らしぶりなどについて語ってくれました。とにかく「多様な国」インドネシアに、参加者には驚きの一夜となりました。皆さんも是非一度、第一金曜の夜は国際村の「きつさこ」に足を運んでみてください。

### シネマ&トーク 「ユキエ」上映会

山形県と鶴岡市、同市教育委員会の主催による「シネマ&トーク」が、二月二十八日に国際村ホールを会場に行われました。映画「ユキエ」は、アメリカ人ルイジアナを舞台に、初老をむ

かえたアメリカ人の夫と、アルツハイマーという難病におそわれた日本人妻の夫婦愛を描いた作品です。参加者からは、薄れゆく記憶とのたたかいを「スロー・グッバイ」（ゆるやかな別離）とする二人の姿を通して、今後の夫婦のあり方を改めて考えさせられたという声が寄せられました。



また、松井監督の講演では、男女が互いに認め合い、受けとめ合う関係を築きながら、自分の思いを貫き通すことの大切さを教えてくれました。

### 財団 理事会・評議員会開催

財団法人出羽庄内国際交流財団の理事会・評議員会が三月、五月に開催されました。三月十七日に開催された平成十年度の第二回には、財団役員・評議員二十五名中十四名が出席し、各種講座等の年を通し

て実施している事業の拡充や音楽祭の開催等盛り込んだ三千五百五十万円の平成十一年度の予算案や事業計画が審議、可決されました。

五月二十四日の理事会・評議員会には十二名が出席、十年度の三千二百二十七万七千二百円の財団会計の決算が審議・承認されたほか、実施事業についての報告が行われました。その後の懇談では、児童・生徒対象とした事業の拡充、在住外国人の方への支援充実等の要望、意見がだされました。

### イタリア イル・ビゾンテ版画展

ピカソやダリ、ミロなどの巨匠らの作品約百六十点の作品を展示した「イタリアノイル・ビゾンテ国際版画美術展」が四月十日から十八日まで国際村ホールで開催されました。

これは、鶴岡市の友好都市・東京都江戸川区等のとりはからいで実現したものです。開催に先立ち九日には、マルケッティ・イタリア文化館長夫妻、マツシモ・バリストロッキ駐ガーナ大使や今回の美術展の実現に尽力された江戸川区在住の版画家原科夫妻らを迎えてのテープカットも行われました。



今回自らの作品も展示したバリストロッキ駐ガーナ大使はこのような展示会を開催できてとてもうれしい。機会があったら、是非、イタリアで鶴岡の文化を紹介したい……」と語ってくれました。

会期中、会場には約三千名の市民が訪れ、地方ではなかなか見る機会のない世界的な作家の作品の数々に見入っていました。

# トピックス

## ドクトルKとルルさんの地球子育てトピック

一月三十日、鶴岡市農村センターで子育てに関する講演会が開かれました。これは、「すこやかな子どもを生み育てるネットワーク推進委員会」（事務局・市健康課）が公開講座として開催したものです。

この日は日本国際ボランティアセンター山形（JVC山形）の桑山紀彦氏のミニコンサートや桑山氏とタンザニア出身で長井市在住の鈴木ルルさんの対談が行われました。約百名の参加者は国による家庭や子育ての違いなどに興味深く聞き入っていました。

## 県民と留学生との交流会 山形市で開催

留学生との交流会が二月二十三日、山形市内のホテルで開催されました。これは山形大学が高等教育機関に在学中の外国人留学生と県民の交流を図るため毎年実施しているものです。

この日は留学生八十五人を含む約二百七十人が参加し、卒業予定者の紹介や出身国の歌や踊りの披露などが行われました。留学生らは、地域の人々との懇

談や学部が違ったために会う機会の少ない同胞との久々の再会に話を弾ませていました。

ちなみに、県内の留学生は今年一月一日現在百八十七人。山形大学には百五十一人在籍し農学部では二十四人学んでいます。

## NB市へ 中学生派遣



鶴岡市の姉妹都市の米国ニューブランズウィック（NB）市へ中学生八名が派遣されました。これは、国際理解推進事業の一環として鶴岡市が平成五年度から実施しているものです。

五回目となった今回は男子二名、女子六名が三月十八日に成田を出発。ホームステイしながら学校の授業を受けたり、NB市内や同市から車で五十分ほどのニューヨーク市を訪れ見聞を深め、四月五日に無事元気に帰国しました。

## タイへ ジュニア民間大使

ジュニア民間大使が春休みの三月二十一日から二十七日までの間、タイの福祉施設等を訪問しました。これは、庄内国際交流協会が実施したもので、十一回目の今年は十八名が参加、「子供の村学園」や「乳児院」を訪問、子供たちと共に生活し交流を深めてきました。

これまで小学生から大学生まで百九十一名、社会人七十一名が参加、帰国後も福祉、国際交流、国際協力等の分野で活動を行っています。

## 忘れられた子供たち 映画上映会

フィリピン・マニラ市のゴミ捨て場で再生可能なゴミを拾い転売して生きる「スカベンジャー」(こみをひろって生活する人)と呼ばれる子供たちを描いた映画「忘れられた子供たち」が三月二十七日に鶴岡市中央公民館で上映されました。

これは、親子で各種学習活動を行っているグループが開催したものです。上演の間にはJVC山形の桑山紀彦氏の講演会も行われました。「本当の幸せ」「本当の豊かさ」について考えるいい機会になりましたと主催者は語ってくれました。

## 平成11年度 賛助会員

### ご加入ありがとうございます。

(平成11年4月1日～4月30日)

#### 個人会員 入会順・敬称略

富塚 陽一	阿部 一也	三浦 幸雄	五十嵐 武矢	中村 良一	齋藤 和也	小野寺 康夫	齋藤 澄
伊藤 清	伊藤 智康	阿部 茂	高橋 一夫	佐藤 均	白井 宗雄	佐藤 幸直	阿部 恵子
伊藤 秀文	佐藤 巖	小林 達夫	後科 直士	蓮池 一輝	志田 忠	齋藤 豊	高山 淑子
中村 雄一	毛呂千鶴夫	本城 昭一	竹田 浩洋	齋藤 勲	山本 益生	小島 研司	黒井 秀治
阿部 良忠	毛呂富美子	齋藤 助夫	五十嵐 鎮	山口 正明	工藤 明	須田 克幸	板垣 康宏
松原 要一	毛呂 光一	榎本 政規	加藤 瑞夫	青木 博	伊藤 博	石原 良	門脇 甚一
阿部 登喜	富田喜美子	五十嵐 昭市郎	三浦 惇	加藤 淳一	林 由美子	石川 誠一	大屋 啓子
板倉 淳子	田代 仁行	佐藤 慶子	恩田 隆嗣	三浦 義広	板垣 隆一	佐藤 和彦	長谷川 政敏
加藤 美香	吉田 喜代志	吉田 誠	松浦 誠	徳永 亮	伊関 仁一	佐藤 末志	白幡 均
加藤 龍介	宮崎 明子	阿部 一也	義彦 重好	原田 利也	関 浩	吉田 宏	佐藤 光博
三浦 朗子	吉田 薫	川上 隆	佐藤 智志	石原 行一	小林 順五	齋藤 恵康	佐藤 弘
外石 協	藤 豊喜	芳賀 誠	五十嵐 廣明	渡辺 和義	大川 慶輝	五十嵐 敬郎	佐藤 文彦
佐藤 伸五	匹田 久雄	佐藤 信雄	鈴木 勉	進藤 昇	佐々木 章	梅津 尚高	遠見 昌彦
金内 紀子	草島 進一	神尾 幸	阿部 恒彦	門崎 秀夫	森 博子	深瀬 真之	高田 清
茂木 薫	加賀山 茂	川村 正志	本間 興二	板垣 博	村田 久忠	後藤 利行	三浦 真紀
水口 修	長谷川雅一	野村 廣登	奥山 眞弘	柿崎 節	佐藤 正一	島貴 設子	五十嵐 泰彦
斎藤 房子	伊藤 一郎	伊藤 一	伊藤 武	伊藤 元			
若林 京子	佐々木俊司	富 正毅	佐藤 令子	山木 知也			
庄司 光三	菅原 健	佐藤 肇男	芳賀 肇	今野 孝彦			
東海林 敦	水尾 京子	菅原 信喜	鈴木 文雄	高山 光			
高坂 信司	加藤 太一	中沢 洋	芳賀 一弥	菅原 一司			

#### 団体会員 入会順・敬称略

ヒサオ看板 (株)中村塗装

## あなたも賛助会員に!

財団の活動主旨に賛同され、事業運営にご支援いただける会員を募集しています。

- 年会費：一般 3,000円
- 高校、大学生 2,000円
- 小、中学生 1,000円
- 法人1口 10,000円(何口でも結構です)

期日：翌年3月31日まで

会員の方には、財団機関誌等の送付、アマゾン民族館の無料入館、語学講座受講料の割引などの特典もあります。

## 「各種お知らせ」 募集します

国際交流に関するお知らせ(団体・個人)、イベント情報等、国際村までお寄せください。